

■ 第11講

総合テーマ：『高齢者が生涯にわたって輝き続ける地域社会づくりの可能性と課題』

日時：2020年2月4日（火）

会場：名古屋栄ビルディング 特別会議室（12階）

■講師：澤岡 詩野 氏（公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員）

■テーマ：『高齢になっても最期まで輝く地域社会のつくり方

～2つの事例から可能性と課題を探る～』



人生100年時代は、誰もが長寿を生きる可能性がある大衆長寿社会です。社会とのつながりの種類や量が多いほど、長寿にプラスに影響する傾向があると言われ、その質についても注目されています。とくに、「プロダクティブ」（生産的な活動に寄与する存在）や「ジェネラティブィ」（多世代へ文化や価値をつなぐ）ことが重要です。つながりをつくる留意点として、徒歩・自転車圏の地元での行動、「ゆるやかな」つながりで構

わない、支援する側と支援される側の境界は「曖昧」がよいことなどがあげられます。

「つながり」を広げる工夫として、既存の場と場、仕組みと仕組みを活用する方法があります。これまで出てこない人を日々の生活の中で一歩なりとも外に引き出すコーディネート役が自治体に期待されます。また、つながりあえる場を役所や企業に頼ることなく、自分ゴトとして取り組む人たちの行動に「お墨付き」を与えることも自治体の役割です。

■講師：山口 行介 氏（神奈川県茅ヶ崎市企画部企画経営課 長寿社会推進担当主査）

■テーマ：『シニアの社会参加の促進に向けた茅ヶ崎市の取組』



茅ヶ崎市では、増加する高齢者のセカンドライフへの移行、長寿社会のライフデザインづくり、地域活動への円滑な参加、生きがい就労先の発掘などを問題意識に持ち、「豊かな長寿社会に向けた基本方針」を策定（平成27年）。基本方針に基づくセカンドライフのプラットフォーム事業として、生涯現役応援窓口、生きがい就労の開拓、セカンドライフセミナー（新しいオトナ世代セミナー）を開始しました。

新しいオトナ世代セミナーは、シニアが興味を引くテーマ、今後の活動へのきっかけづくりを狙いとしています。生涯現役応援窓口では、就労希望者が来訪者の多くを占めシルバー人材センターへのマッチングが多くなっています。就労先の開拓を行い学童保育の指導員の補助、介護事業所の送迎、タブレット教室の講師、スーパーの夜間マネージャーなど、多くの分野でシニアが活躍しています。定期的なフォローを行い就労先の信頼を得ています。